

2 ALTとの授業を進めるために必要なことは何か

(1) TT指導における学級担任の役割

学級担任の役割を理解し、「児童の好みを把握していたり、児童のつまずきを理解したりできる」という学級担任のよさをフルに発揮したいものです。

授業前	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 授業設計、TTプランの略案の作成。特に、主眼を決めます。 ◆ ALTや同僚と協力して教材、教具を準備します。
授業中	<ul style="list-style-type: none"> ◆ はじめのあいさつをします。 ◆ めあての確認をします。 (主眼によっては、めあて達成のポイントの説明をします) ◆ 活動前…活動の行い方をデモンストレーションしてみせます。 すべての児童が活動のルールを理解したかを確認します。 <div data-bbox="355 869 544 1066"> </div> <div data-bbox="587 891 1433 1099"> <p>Do you understand?と尋ねた時、児童が Yes! と言っても、全員が理解できているとは限りません。児童の表情などから「理解していない」と感じたら、そこでルールの再確認をしましょう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 活動中…児童のつまずきへの支援と児童への言葉掛けをします。 <div data-bbox="331 1227 1077 1435"> <p>まず、英語が分からなくて困っている児童の指導をします。それが終わったら活動中の児童に Good! Excellent! Close! Nice try! など、その場で評価の言葉かけをしましょう。</p> </div> <div data-bbox="1166 1245 1337 1442"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 活動後…児童の評価（日本語でよい）をします。 授業のまとめでの発表は、誰でもよいわけではありません。 <u>意図をもって学級担任が指名してください。</u> ◆ おわりのあいさつをします。

学級担任の先生は、英語をうまく話す必要はありません。むしろ、がんばって英語を話そうとするモデルになってあげるとよいです。児童はそれを見て勇気づけられ、自分も一生懸命にがんばろうとするようになります。

英語で話すことについては、はじめとおわりのあいさつをする、活動名を言う、指示をする、活動中の言葉掛けをするなどができるとよいですね。クラスルーム・イングリッシュの詳細は、73ページを参照してください。

(2) ALTとの授業の打ち合わせ

①指導案の準備

基本的には下記のような指導案を書いて説明しましょう。その方が、打ち合わせがスムーズに進むでしょう。なお、下記の指導案データは、福岡県教育センターのホームページからダウンロードできるようにしています。

Team Teaching Plan

(_____) Elementary School

HRT (_____)

ALT (_____)

1. Date. (日付、校時)
2. Class. (学級)
3. Textbook.
Lesson _____, English Notebook 1 / 2 (_____) . . . 何時間目 / 単元の時間数
4. Aims.
 - a)
 - b) To familiarize the students with “ _____ ”
(使用する英語のフレーズ)
5. Procedure. (指導過程)

Activity (活動)	ALT	HRT	T
1. Opening. a) Greeting. あいさつ	1 Greets. Good morning (afternoon). How are you? weather? What What day is it	1 Greets, and helps the students.	1
b) Warm-up. “ _____ ” ゲームや活動名	2 Demonstrates _____ and explains. 3 Let them try the game.	with the ALT, and helps them. ALTとデモをし、日本語で補足	8
c) Today's target.		3 Confirms the today's target. めあての説明	1
2. Practice (練習) “ _____ ” ゲームや活動名		1 Demonstrates with the ALT. ALTとデモをする 2 Confirms their understanding in Japanese. 日本語で理解の確認	15
3. Communication activity (メインの言語活動) “ _____ ” ゲームや活動名	1 Demonstrates the activity, and explains. 2 Helps them pronounce words, or talks with the students.	1 Demonstrates with the ALT. ALTとデモをする 2 Confirms their understanding in Japanese. 日本語で理解の確認 3 Helps students in trouble. 困っている子どもを支援 4 Gives a comment. 英語でほめたり励ましたり	15
4. Comment (Evaluation) コメント、評価		1 日本語で補足説明し、めあてに沿ってコメント	4
5. Closing.	1 Greets.	1 Greets, “Good-by.”	1


ここには、本時の主眼に合う英語を次ページから見つけ記入します。

基本的にこの部分は変更する必要はありません。

ここに活動名を英語で記入します。

②単元の目標や一単位時間の主眼の設定


★「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」を主眼にする時

- To foster the pupils' attitude ~ [~部分に下記のどれかを選んで書く]
児童の~使用とする態度を育成する 
- to communicate with anyone in the class (both boys and girls).
誰とでも話す (男女関係なく)
 - to communicate while keeping their eye contact.
アイコンタクトをとる
 - to explain their ideas or feelings with gestures.
自分の考え、気持ちをジェスチャーを付けて言う
 - to explain their ideas or feelings while repeating if the partners of conversation or the audience cannot understand.
自分の考え、気持ちを、相手が理解していない時、繰り返して言う
 - to explain their ideas or feelings in a loud voice.
自分の考え、気持ちをジェスチャーで大きな声で言う
 - to explain their ideas or feelings with other words and gestures if the partner of conversation or the audience cannot understand.
自分の考えや気持ちを相手が理解していない時、別の言葉やジェスチャーを付けて言う
 - to explain their ideas or feelings slowly for the audience.
自分の考え、気持ちを、聞き手を意識してゆっくり言う

★「外国語への慣れ親しみ」を主眼にする時

- To familiarize the pupils with~ [~部分に慣れ親しませたい表現を書く]
~に慣れ親しませる

★「言語や文化に関する気付き」を主眼にする時

- To develop the pupils' understanding about the difference (similarity) of ~ [~部分に下記のどれかを選んで書く]
~についての差異性(共通性)の 
理解を深める
- pronunciation (stress) between *katakana* and English.
カタカナ語と英語の発音(強勢)の差異性・共通性に気づく
 - custom(**culture**) between Japan and other countries.
習慣、文化の差異性・共通性に気づく

③ TT 授業の打ち合わせの仕方とその英語

以下の手順で打ち合わせておけば、よいチームが出来上がります。

①本時の指導案（TTプラン）を英語で書きます。

*しっかりしたプランがあれば、ALT も何をすればよいか理解できますし、何も恐れることはありません。

②その指導案を ALT にファックスなどで送ります。

その際、教材を準備してもらいたい時は、“Please make ...”などと、依頼も書いておきましょう。

③当日の朝、ALT の机の上に再度指導案を置いておきましょう。

④ALT が来る日は、授業者の教師だけでも英語の名札を付けておくといいです。

⑤ALT が来たら、笑顔で挨拶をし、その指導案が自分の授業のものであることを伝え、何時間目の授業かを確認しましょう。

*ALT に指導案と指導者の顔の一致をしてもらうのです。

不安であれば、その日 ALT との授業がある先生方で一緒に ALT の所に行くといいです。

また、その際に「先週末には何をした？」（“What did you do last weekend?”）等の会話ができればよいですね。

*何と言っても、ALT と日頃からコミュニケーションをとっておくことが TT 授業成功の秘訣です！

⑥教材を見せたり、ALT から質問があれば受けたりしましょう。

*でも、「ALT の英語がわからなくても当たり前」くらいの強気な姿勢で聞き、わからなかったら“I’m sorry.”や“Pardon.”と言って、ALT に言い換えをさせるとよいです。

あとは授業直前に ALT と少し話をして、英語を使うことに慣れておくといいです。



(3) ALTとの授業の打ち合わせ

☆打ち合わせの際に使える英語表現

① 指導案について、ALT の考えを聞く、アイデアをもらう •Do you have any comments on this plan?
② ALT に教材づくりなどを依頼する •Will you make these materials? ←作ってほしい教材を指しながら
③ スケジュール(時間や場所)について知らせる •This is your schedule. ←スケジュール表を見せながら •We will have the class on the <u>second</u> floor. →授業の場所は <u>2</u> 階です
④ 授業中に ALT に何かを頼む •Please ask some students. ←数人の児童に尋ねてほしい •Slowly, and one more time, please. ←児童が聞き取れていないので、もう一度ゆっくり言ってほしい
⑤ 話すスピードが速くて聞き取れなかったので、もう一度言ってほしい •I can't catch you. One more time, please. Speak slowly.

☆授業中によく使う英語表現 20

① おはようございます・こんにちは	Good morning/afternoon everyone.
② 英語・日本語で何ですか。	In English/Japanese?
③ 手を挙げなさい。	Raise your hand.
④ やってくれる人?	A volunteer, please.
⑤ こちらに来なさい。	Come here.
⑥ 聞きなさい。見なさい。	Listen to me. / Watch me.
⑦ ALT・CD の後に繰り返して言いなさい。	Repeat after the ALT/the CD.
⑧ もう一度言ってください。	One more time, please.
⑨ はいどうぞ。	Here you are.
⑩ 大丈夫ですか。	Are you OK?
⑪ 分かりましたか。	Do you understand?
⑫ 今日はここまでです。	That's all for today's lesson.
⑬ 準備はできましたか。	Ready?
⑭ 時間切れです。	Time's up. / Stop.
⑮ すばらしい!	Excellent! / Great / Very good!
⑯ よくがんばったね!	Good job!
⑰ おしい!	Close!
⑱ がんばったね。	Nice try.
⑲ 自分の席に戻りなさい。	Go back to your seat.
⑳ ペアになりなさい。	Make pairs.

